

広島東南ロータリークラブ 通年経常の目標

(2008.7～)

CLPに挙げられているRC強化の要素を参照しつつ広島東南RCのこれまでの歴史を踏まえ、以下のことを通年経常の目標と設定する。

- 常に会員数概ね100人の確保をはかり、世代職業を超えて親密で和気藹々とした家族兄弟のようなクラブである伝統を保持する。
- 合理的例会運営、高い出席率、早い情報伝達、電子記録の整理保存など東南RCがこれまで充実努めてきたクラブ運営の伝統を保持発展させる。
- 具体的な企業経営や職能活動の現場での職業奉仕のあり方を研究する「経営研究会」を充実継続する。
- 地域社会の子供(子育てを含む)、高齢者、身体障害者など社会的弱者への奉仕活動を中心に通年経常の活動を継続する。
- パールハーバーRC・台中RCとの姉妹関係を緊密に維持し、姉妹関係のもとでの共同奉仕プロジェクトを適宜実施する。
- ロータリー財団・米山記念奨学会への支援は地区内での高い水準を維持するとともに、米山奨学生の世話クラブとして大きく貢献してきた伝統を継承し、積極的に奨学生の世話を引き受け、同時に米山奨学会を支援する。
- 支店長会員を主賓として多様な目的を持って開催している「松茸を腹一杯食べる会」「ふぐを腹一杯食べる会」等を継続する。「郷土史文化研究会」「RIエコー」等ユニークな内容を含む同好会の活動を支援する。